

南京都病院ニュース

2015 春号
No.38

National Hospital Organization Minami Kyoto Hospital News

「臨床研究部」が創設されます

副院長（臨床研究部長） 坪井 知正



南京都病院は、呼吸器科、神経内科、小児科を中心とした病院です。急性期疾患ではなく、ゆっくりと進行する疾患を診療対象としています（もちろん、慢性呼吸不全・神経難病・小児慢性疾患の患者さんが急性増悪された場合などの治療も得意としてはいます）。一般の急性期医療を担わない代わりに、それぞれの科が全国の一線級レベルの専門性を深めようと努力しています。今年4月より、正式な「臨床研究部」が立ち上がります。

専門病院に求められるものの一番目は、地に足がついた実地臨床です。南京都病院では、よくある疾患から高い専門性が求められる疾患まで幅広くカバーし、それぞれの患者さんに最適な医療を提供することを目標としています。それを達成するためにも、より高い専門性が必要となります。

専門病院に求められているものの二番目は、専門性をより科学的に進化させるための医学（臨床）研究だと思えます。医学研究には最先端なものから実際の臨床に根ざした身近なものまであります。京都大学では、昨年末、ヒト iPS 細胞を用いて肺の幹細胞の作製に成功しました。研究を成し遂げたのは、数年前に南京都病院から大学にもどった京都大学呼吸器内科のホープとみなされている後藤慎平先生です。肺は発生（臓器が作り上げられていく過程）の最終段階で現れる臓器です。そのため、肺の幹細胞の樹立には大変な苦勞があったようです。なお、

先行している神経内科の分野では、ヒト iPS 細胞から誘導したドーパミン産生神経細胞を用いたパーキンソン病の治療に関する臨床研究がまさに始まろうとしています。このように、医学研究を通して、病気の本質を明らかにし新たな治療法を開発していくことが可能となります。

南京都病院では京都大学のような最先端の医学（臨床）研究はとうてい困難ですが、より身近な工夫を通して患者さんに実際に役立つ地道な研究を展開しています。呼吸器関連でも、これまでに多くの患者の皆様にご協力いただいていたまいりました。昨年終了した研究では、呼吸抑制の少ない睡眠薬が在宅でマスク人工呼吸をしておられる方々に比較的安全に投与できることを証明することができました。現在は、在宅酸素やマスクを用いた人工呼吸を受けておられる方々に対して睡眠薬等が長期的にみて安全かどうかの研究を展開しています。さらに、呼吸リハビリテーションにおいて新しい装置を用いた研究計画を立案中です。

今年度には国際的な研究成果をあげられた実力のある神経内科の医師を臨床研究部長として招聘する予定です。

南京都病院の神経内科を受診されている方々に、さらに夢と希望を持っていただけるような臨床及び研究を展開しますのでご期待ください。

西病棟5階の紹介

病棟師長 榮 圭子

西病棟5階は、急性期一般病棟です。当病棟には、呼吸器内科を中心に呼吸器外科、消化器外科、小児科、神経内科と南京都病院の診療科全科の患者さん、そして、小児から後期高齢者の方まで幅広い年代の患者さんに入院していただいています。体調を崩され急に入院が必要となる緊急入院、病気の診断をつけるための検査入院、薬物療法や手術療法をうけるための入院、そして症状緩和を目的とする緩和ケアのための入院など、入院目的も様々ですし、入院期間も3日程度から1か月近くの方まで様々です。患者さんが検査や治療を安心して受けられ少しでも早く症状緩和できるように支援させていただいています。

西病棟5階は Acty プログラムで教育を受けた若い看護師が半数以上を占める活気にあふれたチームワークの良い病棟です。学会や研修会にも積極的に参加し、看護の専門性を身に付け、南京都病院の理念である「わかりやすく安全で、安心して受けられる、質の高い医療の提供」にむけて日々努力を重ねています。そんなスタッフが、自分らしく、それぞれの力を最大限に発揮できる環境を整え、看護職として、人として成長できる病棟でありたいと思っています。

※ Acty（国立病院機構看護職員能力開発プログラムで新人から概ね5年目までの教育計画）



第5回院内レポートミーティング

レポートミーティング実行委員会

5回目を迎えましたレポートミーティングは、職員一同の頑張りや成果を発表する場です。今年度設立した教育研修委員会が実行委員となり、平成27年2月24日・25日・26日の3日間で開催しました。演題数は、昨年から14題増え、61題でした。(口述発表24題、ポスター発表37題)。すべての演題をポスターで掲示したので、広い療育訓練室は壁いっぱいポスターで飾られました。また、参加人数は1日目83名、2日目90名、3日目90名、延べ263名でした。

今年も各部門から発表があり、職員同士がお互いの活動を理解し会えるよい機会にもなりました。また、病院全体がチームである

ことを実感でき、部門間の連携の促進に繋がると思いました。

教育研修委員会の一員として、今度はこの南京都病院の内なるパワーを院外での学会発表につなげていきたいと思いを。



新人看護師紹介

教育担当看護師長 射手矢 朋子

うらかな日差しが心地よい季節になり、病院敷地内の桜の名木が満開となり見ごろを迎えています。平成27年度は12名の新人看護師を迎え、活気にあふれています。

「皆様、どうぞよろしくお願ひします。」

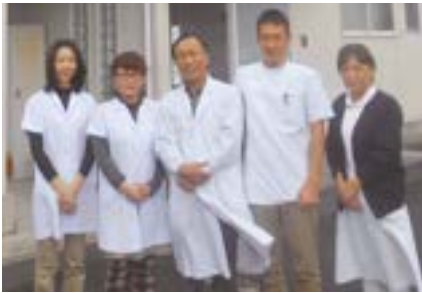


地域医療に力を傾けておられるみなさまをご紹介します

病気の素早い発見と治療を心がけています

沢井内科 院長 澤井 公和 先生

内科・胃腸科



沢井内科のモットーは、急性疾患では、苦しんでいる患者さんを、いかに早く治すかという事を重視しています。その為に、血球自動測定器、レントゲン、心電図、ホルター24時間心電図、エコー検査を常時行うことが出来ます。慢性疾患は、どれくらい病態が進行しているかが大切ですので、血流検査の他に眼底カメラ、スパイロメーター、血管年齢測定器、DXA骨密度測定器等を使用して早期の対応を心掛けています。そして、早期の癌を発見する事が当院院長の趣味です。数年で沢山の大病に、早期大腸癌(4例)早期卵巣癌(2例)、早期肺癌(3例)早期甲状腺癌(3例)、早期腎臓癌(1例)を発見治療しています。

もう一つの特徴は長年の経験から、整形外科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、婦人科(子宮筋腫や卵巣のう胞等)等の他科の診療のプライマリー医として、判断をして院長の信頼している専門医師への紹介を素早く行うことであります。

内科領域では、院長の専門は消化器内科、血液内科ですが、他の領域の循環器内科、脳神経科、神経内科、腎臓内科、呼吸器内科(南京都病院が中心)、糖尿病内分泌内科、膠原病内科の先生方と常に紹介のやり取りをして、活発な病診連携により、病気の素早い発見と治療を心掛けています。

- 京都府京田辺市花住坂3丁目2-4
- TEL 0774-63-7025
- FAX 0774-62-4145

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 8:30~12:00	○	○	○	×	○	○	×
午後 5:30~7:30	○	○	×	×	○	×	×

- 休診日 木・日・祝、水・土の午後



チームワークと笑顔には自信があります

訪問看護ステーション とくら

訪問看護 居宅介護



こんにちは。当ステーションは今年開設19年目を迎えます。「明るく笑顔で」をモットーに、私達の現場は「暮らし」であるという信念で仕事を続けています。この18年間、神経難病の方や癌の末期の方をはじめとする様々な病気と闘っておられる方、重症心身障害を持ったお子さん、またそれぞれ支えていらっしゃるご家族の方々との出会いがありました。その中で「その人が暮らすこと、生きる事」を通して人生観を深める貴重な体験を沢山させていただきました。それらの出会いは私達にとってキラキラ輝く宝物です。今も心の中でダイヤモンドのように光を放っています。

今後は私達自身の感性を磨くだけでなく、確かな技と知識を深め「目の前にいるあなたを助けたい」という思いを実現させていきたいです。「大丈夫、困ったときはいつでも電話くださいね」24時間365日その思いにこたえていくことが私達の誇りです。「あなたの傍にいますよ、一人ではないですよ」の思いを届けられたらと思っております。今後ともよろしくお祈りします。

- 宇治市宇治山本27都倉病院4階
- TEL/FAX 0774-22-4520
- 営業日・営業時間
月~金 午前9:00~午後5:00
※ 24時間緊急対応可能



防災訓練を実施しました

庶務班長 武智 昭弘

平成27年1月18日(日)に当院の北側敷地にて、5年に1度の大規模な城陽市総合防災訓練が開催されました。参加団体は、城陽市の他、国土交通省、自衛隊、山城広域振興局、警察、消防、電話会社、ガス会社、電力会社、宇治久世医師会、地域病院など38団体で、総勢約760名の参加で実施されました。

南海トラフを震源とする大地震の想定で、当院敷地内に現地災害対策本部を設置した訓練ではさまざまな想定に対する訓練が実施されました。



南京都病院医療班による救急処置訓練



南京都病院自営消防隊による消火活動



火災発生建物からのレスキュー隊による救助およびDMATによる救命処置訓練



がれきで車が入れない道路をオフロードバイクによる障害物走行訓練



民家の火災に対しての地域住民によるバケツリレーでの初期消火活動



当院の西病棟の屋上からのヘリによる転移搬送

この様な、全てを想定した大規模訓練には初めて参加しいろいろな知識を得ました。多業種の方々があらゆる場所で活動されることを理解できたのと、日頃からの訓練の重要性、いつ起こるか分からない災害への備えの重要性を感じました。

『健康フェア』～笑顔は健康なからだから～ 開催します!

- 日時：平成27年5月30日(土)10時00分～16時00分
- 場所：アル・プラザ城陽店 モール館1階 エスカレーター横
- 内容：健康相談コーナー(看護・介護・禁煙・栄養・薬剤)、検査測定コーナー(骨密度・血圧・呼吸機能・血管年齢)、キッズ写真コーナー等無料にて行います。

※ 事前申し込みは必要ありません 参加無料 相談無料 検査無料



呼吸機能検査・禁煙相談▶



◀キッズコーナー



🌸 通所事業所 しらうめ 🌸 事業説明会を開催して

療育指導室 主任児童指導員 藤井 鈴子

前回に引き続き、医療的ケアを要する重症心身障害児(者)の方を対象とした通所事業所「しらうめ」について、報告させていただきます。

開設準備室一同、知恵を出し合い準備を進め2月20日(金)に念願の事業説明会を開催することができました。当日まで、何名の方にお越しいただけるのかとても不安でしたが、利用者のご家族をはじめ、近隣事業所の職員の方々、支援学校の先生含め総勢21名の方に参加いただきました。説明会では、当院の通所事業のアピールポイントを紹介するのみでなく、地域の皆様がどういったことを期待されているのかなど、ご意見をいただく良い機会となりました。



このお便りが皆様のお手元に届くころには、「しらうめ」がオープンし地域の方々に集っていただく場所となっていることでしょうか。開所して当面はご迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、楽しみをもって通っていただけるような、温かみのある生活の場を提供できるよう努めますので、どうぞよろしくお願いいたします。

交通のご案内



- 近鉄京都線 新田辺から 京阪宇治バス約15分
 - JR 学研都市線 京田辺から
 - JR 奈良線 山城青谷から 徒歩 20分
- 各駅より送迎車あり

診療科のご案内

- 呼吸器科
 - 神経内科
 - 小児科
 - 内科
 - 外科
 - 消化器科
 - 呼吸器外科
 - 循環器科
 - 整形外科
 - 皮膚科
 - リハビリテーション科
 - 放射線科
 - 麻酔科
 - 歯科
 - 耳鼻いんこう科 (休診中)
- (入院患者のみ対象) (入院患者のみ対象)

🌸 独立行政法人国立病院機構 南京都病院

(当院は在宅療養あんしん病院に登録しています。詳しくはかかりつけ医にご相談ください)

〒610-0113 城陽市中芦原 11 番地
 TEL.0774-52-0065 FAX.0774-55-2765
 URL <http://mkyoto-hosp.jp/>

- 地域医療連携室
- ダイヤルイン 0774-52-0114 (内線 231)
 - 直通 FAX 0774-58-0270
 - E-mail renkei@mkyoto.hosp.go.jp